
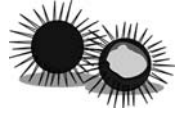





平成26年度奥尻町離島漁業再生支援交付金事業の公表について



町では、離島漁業の再生を図るため「離島漁業再生支援交付金事業」に取り組んでいます。この事業では、漁業生産力の向上や漁業集落の創意工夫を活かした取組みを推進することで、離島漁業の再生や海域環境の保全等といった多面的機能の維持増進を図るものです。また、関係要領等の規定により昨年度実施した取組みの内容を次のとおり公表します。

協定対象漁業世帯数	154世帯	交付金額	20,944千円
平成26年度実施した取組事項			
漁場の生産力の向上に関する取組	取組内容	取組の成果	取組成果の説明
	<ul style="list-style-type: none"> ●ウニ深浅移殖放流 ウニ深浅移殖放流は、潜水器漁業により深場に生息しているウニを漁場となる浅場へ移殖することで未利用となっていた資源の有効活用を図る取組みです。 ●アワビ種苗放流 アワビは島の特産品であるが、最近では、異常気象など様々な要因により資源の減少が深刻な状況となっています。 このため、アワビ資源の回復のため種苗放流を計画し、過去の放流実績等を踏まえ、効果の高い放流方法を検討しながら種苗放流を実施した。 	<p>120万個</p> <p>5万個</p> 	<p>今年7月から実施のウニ漁における生産力の向上が期待されます。(昨年9月に実施)</p>  <p>高い種苗放流効果を期待し、漁協青年部の潜水士による海底での種苗放流を実施した。 これによりアワビ資源の回復と次期アワビ漁での水揚げの増加が期待された。(アワビ漁の漁期は5～7月) また、放流効果を検討する際の資料とするため、前年度までの放流箇所において追跡調査を実施し成長の状況などを確認した。</p>
集落の創意工夫を活かした取組状況	取組内容	取組の成果	取組成果の説明
	<ul style="list-style-type: none"> ●ヤリイカ試験操業(棒受け網漁) ヤリイカ棒受け網漁は、20年程前まで安定した水揚げ実績があったものの、ヤリイカの来遊変動が大きく水揚げが不安定であるため、近年は操業を控える状態が続いている。 しかし、魚種としてのヤリイカは価格が高いことに加え、操業時期もスルメイカ漁と重複しないことから漁業生産力の向上が見込まれる魚種として、積極的に産卵礁を設置するなど資源増大に努めてきた。 こういった経緯から、漁期にどの程度の水揚げがあるかを把握(試験操業)し、良績があれば他の漁業者の操業意欲の向上(本操業)に繋がるものと期待し活動を計画した。 ●イワガキ養殖試験 奥尻町のイワガキは、今の所、漁業対象種とはなっておらず、棲息状況についてもほとんど把握されていない実情のため、奥尻町に棲息するイワガキの棲息場所や数量を調査すると同時に、産卵期などの基礎的な生態の把握に努め、他府県のイワガキと比較しつつ奥尻ブランドの可能性を検討する。 さらに、関係機関の協力を得て奥尻に適した養殖手法を模索する。 ●ホヤ養殖試験 奥尻島のマボヤ漁は、天然資源に依存している為、採取方法は潜水器漁業が主体となっている。 そのため、水揚げ量は少なく多大な労力を要している。そこでホヤの安定供給を目的に本養殖試験事業に取り組み人工種苗生産を試みた。 	<p>延べ調査回数 25回</p>  <p>生息地調査実施</p>  <p>試験養殖継続育成採苗 1回</p> 	<p>当該年度は計画日数(25日)に対し、順調に試験操業ができ計画どおり活動日数(25日)の操業が行えた。 しかし、来遊の状況が思わしくなく、数匹の水揚げが2回ありましたが出荷に至りませんでした。 試験結果からヤリイカは単価が高いが、来遊変動が大きいことを漁業者に情報提供を行った。また、ヤリイカ漁は島の漁業の柱であるイカ釣り漁(漁期:6月～1月)の閑散期を利用した漁業であり、来遊状況が好調の際には他の漁業者の本操業へ繋がるものと期待している。</p> <p>今までの経過を基に養殖方法を改善し、順調に養殖試験を行っている。 しかし、安定した種苗生産が難しいことから、研究機関の協力により種苗生産体制の確立に取り組む。 また、施設ロープにイワガキの二次発生を確認したことから今後の種苗生産の補完として種苗確保に取り組んでいく。</p> <p>昨年の試験を踏まえ、産卵時期を逃さないように親ホヤを採捕できたことから、採苗に成功しました。 今後は引き続き海中試験養殖での成長の経過を調査し、種苗生産の確立や養殖試験に取り組んでいく。</p>

第9回 奥尻島しまびらき!!

奥尻の観光シーズンが幕を開けました!

5月1日、『第9回奥尻島しまびらき!!』が海洋研修センターで開催されました。

地元の方も含め、約300名の方が会場を訪れ、お楽しみ抽選会やしりふり音頭、餅まきなど、楽しい時間を過ごされていました。

奥尻島はこれから観光シーズンが本格化します。観光で奥尻島を訪れた方々から喜んでもらえるよう“おもてなしの心”をもって迎えましょう。



毎年ステージを盛り上げるKAZUMIさん



みんなが参加した“奥尻しりふり音頭”



家族ふれあいフィッシング大会



気になる釣果の方は…?

5月9日(土)に教育委員会主催の第25回家族ふれあいフィッシング大会を奥尻港周辺を会場に開催いたしました。

当日は19家族61名の方が参加し、それぞれが大物を狙って自慢の釣り竿を振り出していました。

釣果の方は、天候が良すぎたためか大漁とはならなかったようですが、良型のアブラコを釣った人もいて、釣りを通じて親子の触れ合いや家族の絆が深まりました。



▲磯釣り名人でも苦戦していたようです…(笑)

奥尻島での釣りは魅力あるレジャーの一つですが、海中転落などの危険が伴いますので十分注意し、楽しみましょう!

平成27年度 奥尻町消防総合訓練大会

日頃の訓練成果が披露されました…。

檜山広域行政組合奥尻消防署では、5月17日(日)海洋研修センター駐車場で「平成27年度奥尻町消防総合訓練大会」を開催しました。

大会には、町内各地区4つの消防団と消防団員71名、婦人防火クラブ44名、消防署員10名が参加し、坪谷団長のほか田中副町長をはじめとした来賓や関係者が見守るなか、小隊訓練やポンプ操法など日頃の訓練成果を披露されました。



大会では、功績が認められた次の方がそれぞれ表彰されましたのでご紹介します。

- ◆消防庁長官表彰 永年勤続功労章
副分団長 中村 征夫さん
- ◆日本消防協会定例表彰 精績章
分団長 小濱 正人さん





少年野球



奥尻スカイバード 快進撃! ベスト4進出!!

5月3日から10日まで函館市で開催された『高円宮賜杯第35回全日本学童軟式野球大会』で奥尻スカイバードが並み居る強豪を撃破し『ベスト4』進出の快挙を成し遂げました。

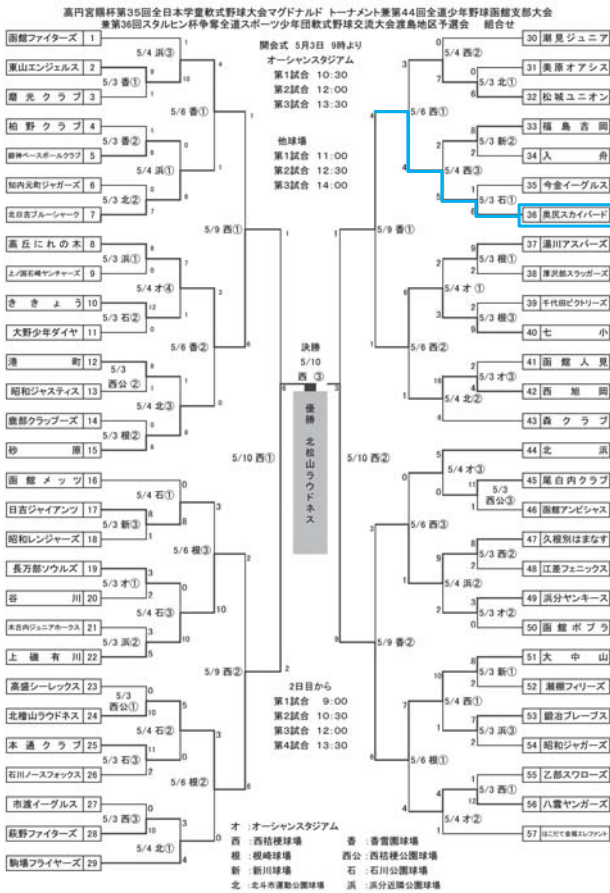
この大会には、道南圏の57チームが参加し、初戦、2回戦、準々決勝と前評判の高い強豪チームを相手に、エースの菊地投手の好投や繋がりのある打線が効果的に得点を積み重ねた結果、勝利を掴み取ることができました。

準決勝では、連戦の疲れや地力の差もあり、力が及びませんでしたが、今回大きな大会でベスト4という成績を納めたことは、子供たちにとって大きな自信となり、勝つことの喜びや野球の楽しさを味わう貴重な経験となりました。



▲奥尻スカイバードの選手たち

また、奥尻スカイバードは昨年まで別々にプレーしていた「青苗スカイバード」と「奥尻ブレイクス」が合併し発足した新チームで、奥尻スカイバードの菊地監督は「チームの合併にあたり、数々の困難があったなか子供たちのために想って新チームの立ち上げに尽力し、ご協力をいただいた父母や関係者全ての方に感謝と御礼を伝えたい」と述べ、子供たちも素晴らしい結果で応えたことは、チーム関係者にとって言葉では伝えきれない感動と喜びで、今後も新生『奥尻スカイバード』の更なる活躍が期待されます。



広告

医療法人社団 陵仁会

【診療科目】産科・婦人科 小児科隣接

えんどう桔梗 マタニティクリニック

産科・最新4D超音波・婦人科他(産前・産後の教室も充実)

院長 遠藤 力 副院長 白戸 智洋

【診療時間】 日(第2・4)月 火 水 木 金 土

午前(9:00~12:00)	●	●	●	●	●	●
午後(14:30~18:00)	休診	●	●	手術日	●	休診

休診 日曜(第1・3・5)・祝祭日

初診の方でもPC,携帯,スマートフォンから24時間外来事前受付,分娩希望受付可。
問診票ダウンロード可。予約なしの来院も可。
ホームページ内のメールフォームからのご質問は24時間可。電話問い合わせ可(診療時間内)。(桔梗駅前通り中の沢小学校前)

LDR(分娩室)リニューアル 和室病室も新設 産前・産後ケア充実

6月の日曜診療は、14日・28日に なります。

入院設備完備

函館市桔梗5丁目7-15 TEL(0138)47-3001